## 環境 NEWS (第11回)



## 全日本サーフキャスティング連盟本部 環境部

みなさんが釣り場に到着されたときに、もしゴミがそこらじゅうに放置されていたらどんな気分になりますか? まったく気になりませんか? 決してそんなことは無いと思います。

「今日こそ大物を釣るぞー」という高まっていた気分も、萎えてしまうでしょうね。

ゴミ拾いに来たわけではありませんが、せめて自分の釣り座の周囲だけでもきれいにしたいですね。

私ごとですが、定年退職後に朝のウオーキングを始めました。近所の堤防道路を 1 時間程度早足で回るのですが、道路上にはタバコの吸い殻や飴の小袋、クスリの空パッケージ、ティッシュペーパーなどなど。マナーの悪い人がいるもんだなぁと帰ってから嫁さんに話をしたら、「あなたが拾ったら、どうせ暇なんだから...」と。

おっしゃる通りでございます...。ということで、次の日からコンビ二袋とメゴチばさみを持ってウオーキングをすることに。小さなコンビ二袋は毎回いっぱいになりました。ゴミを拾いながら歩いていると、「おはようございます」とか「ご苦労様です」などと声をかけて頂けるようになりました。

そのうちにゴミの量は徐々に減っていき、今ではほとんどゴミを持ち帰ることが無くなりました。決して私のせいでゴミが無くなったとは思いませんが、ほかにもいらっしゃるゴミを拾う方たちの姿を見た人が、ゴミを捨てるのをやめたり積極的にゴミ拾いをしたりした結果かなと思っています。

一人が出来ることは限られます。しかし、一人が行動する姿を見てもらうことにより、世間に影響を及ぼすことは出来ると思います。

一人の釣り人が釣り場のゴミ拾いをすること自体は大きな成果が無いかもしれませんが、ゴミ拾いをする姿を見てもらうことで世間に影響を与え続ければ、釣り場が無くなることは無いと思います。

SDGsな(持続可能な)釣り場を維持するためにも、あきらめずに行動していきましょう。 あなたの力は決して小さくありません!!

とある釣り場 Before







ウオーキング道







